

呼吸器センター通信 vol.3

中東呼吸器症候群について (Middle East Respiratory Syndrome : MERS)

中東呼吸器症候群（MERS）は、2012年9月以降、サウジアラビアなど中東地域で広く発生している重症呼吸器感染症で、病原体は新種のMERS コロナウイルスです。その地域を訪問した人が帰国後に発症することもあります。2002～2003年に中国から世界中に流行が拡大したSARS（重症急性呼吸器症候群）も新型のSARS コロナウイルスが病原体でした。2015年5月以降、韓国で中東からの帰国者が発端と考えられるMERSの流行がみられました。糖尿病、悪性腫瘍、慢性心肺疾患など基礎疾患のある人や高齢者で重症化しやすい傾向があり、死亡率は35%以上に達します。



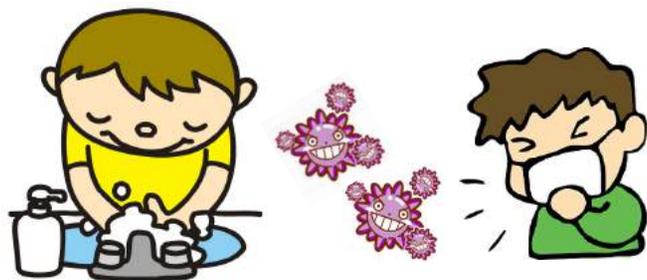
感染源動物としてヒトコブラクダが疑われており、MERSが発生している中東地域では、ラクダとの接触、ラクダの未加熱肉や未殺菌乳の摂取が感染リスクとされています。家族間や医療機関でのヒト-ヒト感染が疑われる事例も報告されており、咳などによる飛沫感染や接触感染と考えられています。

感染してから2～14日後に発熱、咳、息切れや呼吸困難などの症状が出現しますが、無症候感染の場合もあり、また下痢や腎炎を併発することがあります。

MERSの診断については、地方衛生研究所でスクリーニング検査が可能で、この検査結果が陽性の場合、国立感染症研究所において確定検査を行い、ここでも陽性になったものをMERS患者（確定例）とします。

特別な治療方法やワクチンはなく、対症療法が主体となります。予防対策として、手洗いの励行、咳、くしゃみなどの症状がある人との接触をできる限り避ける、早期に患者を特定、隔離することが重要です。

MERSが疑われる患者を診察した場合は、最寄りの保健所に連絡して、対応について相談して下さい。



呼吸器センター 呼吸器内科部長 久保井 礼

■呼吸器センター診療担当表

	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
外科	花桐 (新患)	手術 (当番医)	花桐	当番医	手術 (当番医)		花桐	当番医		手術 (当番医)
			安田				安田		安田	
	手術		芦刈				芦刈		森	
内科	久保井				久保井				久保井	
			加藤				花香			
									高木 (禁煙外来) (咳・息切れ外来) (粉塵・アスベスト外来)	

※ご紹介は【呼吸器センター】【呼吸器内科】【呼吸器外科】のいずれでも結構です。
お気軽にご相談下さい。

～編集後記～

新年明けましておめでとうございます。この冬は暖冬傾向ですが、これからインフルエンザを含めた感染症流行が本番を迎えます。冒頭で紹介しましたように、当センターでは市中肺炎以外に感染症の相談も含め対応しています。呼吸器疾患診療でお困りの際は呼吸器センター宛にお気軽にご相談して頂ければ幸いです。

本年も皆様方の変わらぬ御指導・御鞭撻の程何卒宜しく御願ひ致します。

呼吸器外科部長 安田 学

